



岐阜が誇る食のプロたちによる
シンポジウム

研究者は応援団

關野 伸之



町の食べ物屋さん と考える、環境のこと

毎日、口にするものだから、食べ物の安全や環境のこと、
食のプロたちと一緒に考えてみませんか。

期 日 / 10月10日(土) 13:30~16:30
場 所 / 岐阜市民会館・会議室80

申込不要
無料

講師



食をたのしむ

株式会社円相フードサービス
専務取締役
稲田 俊輔



鰻と炭

川魚料理田なかや
店主
小澤 達雄



日本酒・古酒

合資会社白木恒助商店
代表社員
白木 滋里



油とかりんとう

合名会社山本佐太郎商店
代表社員
山本慎一郎

コメンテーター



阿部 健一

専門は環境人類学、相関地域研究。
主な研究テーマは生物と文化の多
様性。長良川のFAD(世界農業遺産
科学委員会現地調査員を務める。
総合地球環境学研究所
教授



フリーライター 新美 貴資

東海地方を中心に食の生産地をた
ずね、漁業振興や食糧復活、山川海
のつながりなどを伝えるライター。
水産ジャーナリストの会員。

稲田俊輔

株式会社円相フードサービス
専務取締役

「本当に美味しいもの」を追求し、
それを楽しむためのスタイルを提
案する、「食」のトータルプロデュ
ース集団・円相フードサービス
岐阜に根をおきつつ、日本各地か
らベトナムまで事業を展開
有機、無農薬野菜にこだわりすぎ
ることで起きるフードファシズムに
ついて問題提起





小澤達雄

川魚料理 田なかや
店主

昭和25年から続く柳ヶ瀬の
鰻屋の2代目

日本料理店での修業を経て
祖父・祖母・番頭さんと4代に
わたり受け継がれた鰻のた
れを守り続ける

資源枯渇に伴う鰻と炭の危
機状況について問題提起

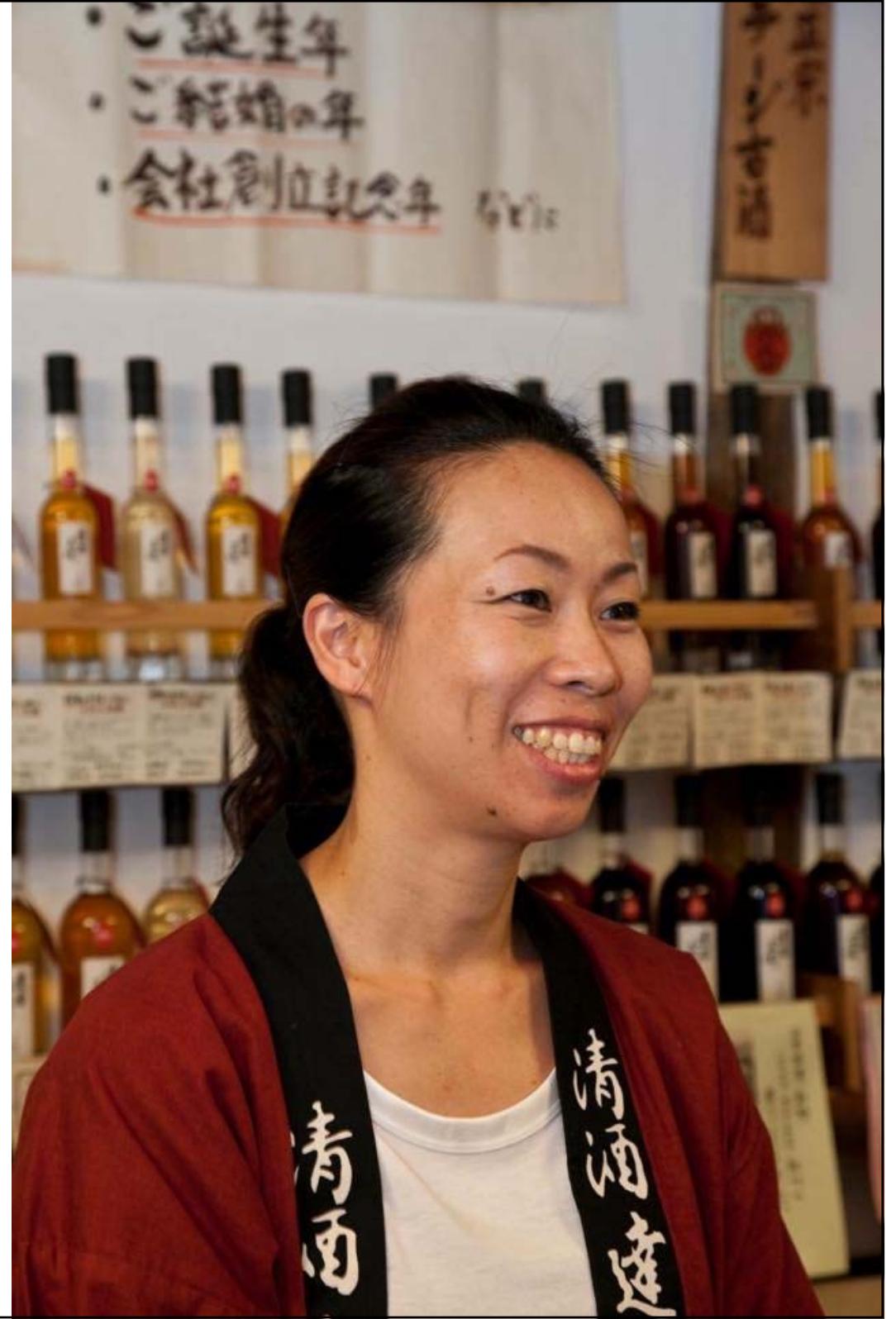
白木滋里

合資会社白木恒助商店
代表社員

創業天保六年(1835年)の酒蔵の女将

達磨正宗は「美味しんぼ」54巻「日本酒の実力」にも登場
古酒の魅力を全世界に向け発信中

人気米に需要が集中し、米の価格が高騰するも農家も儲かっていない問題を提起



合名会社山本佐太郎商店
代表社員

山本慎一郎

明治9年創業の油問屋の4代目
和菓子職人との出会いから生
まれた『大地のかりんとう』は
全国的に大ヒット

今年9月の京都・河原町での
販売では駅まで長蛇の列
米の消費低下・米油の需要
増加に伴う米油の欠品など
海外に依存する油の状況に
ついて問題提起



舞台にたつのは町の食べ物屋さん 考えるのは会場のみなさん

岐阜県職員として研究者として、シンポジウムを企画

行政が主催するシンポジウム つまらない

研究者が主催するシンポジウム つまらない

質疑応答

決まった人しか発言しない



鰻屋の置かれている状況

価格に反映できない
ドジョウやナマズで代替できるか？

大手スーパー・牛丼店との競合
シラス不足による価格高騰
ワシントン条約(来年、登録？)

鰻資源枯渇

炭不足

東南アジア各国の森林保護政策
中国との関係悪化

職人不足

割き8年、串3年、
焼き一生

たまり醤油

大豆不足による値上げ
減り続ける醤油蔵

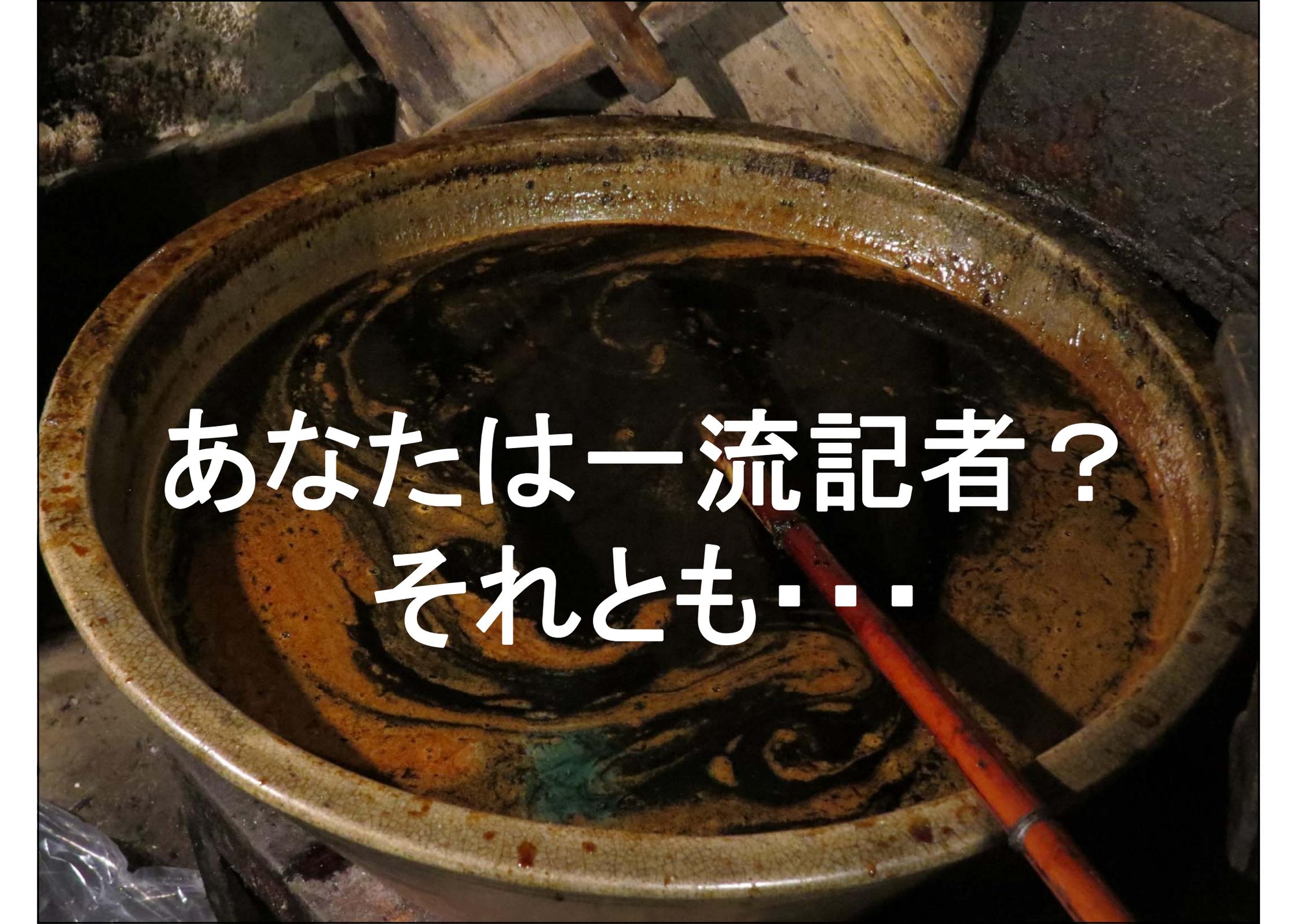
鰻のたれの食べ比べ授業

どちらが65年絶えることなく継ぎ足されたたれ？

中京大学 13グループ中4グループ

滋賀県立大学 8グループ中2グループ





あなたは一流記者？
それとも...